

私は、12月11日土曜日に広島県 NIE 推進協議会主催の第 99 回 NIE 学習会の「SDGs 授業で新聞活用しよう」のワークショップに参加してきました。NIE (Newspaper in Education =「エヌ・アイ・イー」と読む。)学校などで新聞を教材として活用する活動のことであり、興味や関心のある幅を広げる目的の社会運動でもあります。米国では、1930 年代からすでに広く行われていますが、最近日本でも同様な活動が小中高を中心に、普及しています。

当日は、NIE に関心を持つ短大生として、また学生広報として、一人でも多くの学生に NIE と並行して SDGs の取り組み方についても関心を持つきっかけにしてもらいたいという目的をもって参加しました。

中国新聞本社ビル 7 階の会議室にて、関心を持った学生や教職員の方が約 30 名参加されており、ほとんどが小中高校の教員の方によって占められていました。大学生は、私のほかに安田女子大学や広島経済大学の学生も参加されていました。

2 部形式になっており、1 部は広島県 NIE 推進協議会会長の朝倉淳さんによる「SDGs 学習の展開と新聞の活用」についての講義がありました。また 2 部は、参加者全員によるワークショップで主テーマになっている「SDGs 授業で新聞活用しよう」に関係する内容をもとに、「回し読み新聞」を作成するメニューになっていました。

2 部のワークショップの流れは→4、5 名でグループを作り、60 分の規定時間の中で自己紹介→用意されていた新聞から各自興味のある部分を読み込む→記事を 1 つ選ぶ→グループ内で各参加者が選んだ記事を回し読みする→各人で付箋に意見や気づきを書き込む→各人が選んだ記事を貼る→気づきや意見を書いた付箋を各記事に貼る→見出しや色付けを加えて、最終的に 1 枚の SDGs に繋がる新聞を作成する という流れに沿って全員で作業を行いました。

特に印象的だったことは、各人が選んだ記事は一見 SDGs に関係のないものだと感じる記事でしたが、班のメンバーで多角的な視点で回し読みを行ったことで記事の内容が掘り下げられ、SDGs と接点のある記事であることが認識できたことです。柔軟な視点を持ち、一つのことを掘り下げていくことによって新たな発見に繋がるのがワークショップを通じて、実感できました。

NIE のワークショップに参加したきっかけは学生広報の担当の先生からの勧めでしたが、私以外のもっと多くの学生が今回のような取り組みに自主的に参加する機会があれば是非参加を勧めたいと感じました。

参加してみて、ここ数年コロナ禍の影響でオンライン中心の大学生活を送ったことでグループワークに慣れていない私のような学生が多く、このようなワークショップに参加していくことで大学以外の環境で自分の可能性を広げていくことも意味があると感じました。

今回のワークショップに参加した経験を少しでも生かして、来春社会人として生かしていきたいと思います。

(文責 小松尾 瞳)